

芸術

教科	科目	単位数	履修年次・選択群	履修区分
芸術	音楽表現	2	3年次・J2群	自由選択

目 標	履修の条件・連絡
1 音楽理論の基礎を理解させる。 2 音楽を愛好する心情を育てるとともに、感性を磨き、創造的な表現と鑑賞の能力を伸ばす。	・1年次、2年次に音楽を選択していること。

使用教科書 (出版社)	Music Note 基礎から学ぶ高校音楽 (啓隆社)	副教材 (準備物)
		特になし。

学年	学期	月	学習内容 (単元・項目)	学習のねらい
			1	4月
1	学 期	5月	楽典 音程 コンコーネ NO.5 NO.13	・レガート唱法について理解する。
		6月	楽典 調性	・全音階、半音階について理解する。
		7月	鑑賞 古典派・ロマン派の音楽	・作品の特徴を知りながら音楽史を知る。
2	学 期	9月	楽典 移調と転調	・関係調について理解する。 ・楽譜の移調について知る。
		10月	歌曲に親しむ イタリア歌曲 ドイツ 歌曲	・原語歌詞の発音を練習する。 ・イタリア語を知る。 ・ドイツ語を知る。
		11月	コードネームとギター 自作自演のまとめ	・和音の種類を知る。 ・発表へ向けて準備する。
		12月	鑑賞 近代・現代の作品	・作曲家について知る。 ・演奏形態を理解する。
3	学 期	1月	邦楽器を楽しむ 自作曲の発表	・邦楽の歴史について興味もたせ、理解する。 ・成果を発表する。
		2月		
		3月		

学 習 評 価	観点	音楽への関心・意欲・態度	音楽表現の創意工夫	音楽表現の技能	鑑賞の能力
	規 準	歌詞及び曲想や奏法に関心を持ち意欲的に表現しその喜びを味わおうとしているか。	各音部記号や、調性を理解し、表現を工夫しているか。	楽譜を見て音楽構成要素が全体のまとまりの中でどのように関わっているかを把握し、表現する技能を身に付けているか。	楽曲が生まれた時代・文化的状況を踏まえ総合的に楽曲全体を聴取しているか。
	手 段	・授業中の態度の観察 ・提出物の提出状況	・授業中の態度の観察 ・実技試験とレポート	・授業中の態度の観察 ・実技試験	・授業中の観察 ・レポート
	各学期や年間の学習状況の 評価方法	単元末、学期末ごとに評価を総括し、年次末に単元末と、学期末の総括を行い評価する。			

学習上の留意点	・基本的に教科書を中心に授業を展開するので、楽譜が読めるように予習しておこう。 ・楽器（ピアノ）の基本奏法を身に付けよう。 ・自分から進んで取り組み、自分のできる精一杯を表現してみよう。
---------	---